

# 知事記者会見の概要

日 時：令和7年11月17日（月） 9:20～9:28

場 所：501会議室

出席記者：12名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- （1）クマ被害防止緊急対策について

### フリー質問

- （1）発表事項に関連して

<幹事社：朝日・荘内・NHK>

## ☆発表事項

### 知事

県内のクマの目撃件数は増え続けておりまして、11月9日現在で2,257件となりました。

人身被害の発生件数も12件となりまして、記録が残る昭和52年以降で最多となっております。

これまで県では、当初予算に加えて、9月補正も行い、速やかに対策を講じてまいりましたが、例年であれば出没件数が減少傾向となる11月に入っても減少しておりません。これまでにない、本当に異常な事態が続いているというふうに考えております。

こうした中、先週14日に政府の「クマ被害対策パッケージ」が公表されました。本県としましても、総合的なクマ対策を定め、速やかに取り組む必要があると思ひまして、先ほど、第2回クマ緊急対策会議を開催しました。「山形県版クマ被害総合対策施策パッケージ」をとりまとめたところであります。

その上で、今後も人身被害の発生が強く懸念されますので、このパッケージに盛り込んだ対策のうち、直ちに実施できるものを「山形県クマ被害防止緊急対策」として講じることといたしました。

緊急対策におきましては、9月補正予算で実施した県管理河川の藪の刈払いを追加で実施しますとともに、柿の木などの不要果樹の伐採などを支援いたします。市町村からもですね、藪の刈払い、もっともっと続けてほしいと、もっと拡大してほしいというような意向があったということを聞いております。

また、地域住民の安全確保として、地域や学校、保育園などへのクマ対策の専門家派遣を行うほか、地域における見回りを強化いたします。

さらに、現場対応力の強化としまして、猟友会や市町村職員、警察職員の装備品の増強を図ります。

これらの事業につきましては、予算が必要となりますが、一刻も早く対応する必要があると判断し、専決処分により実施をいたします。

このほか、商工業者向けの金融相談窓口や、観光者向けの相談窓口を設置して、影響を受けた方々の、また、心配をされている方々の相談に対応してまいります。

県としましては、引き続き危機感をもってクマ対策に取り組み、県民の安全・安心の確保に万全を期してまいります。

私からは以上です。

## ☆フリー質問

### 記者

NHKです。よろしくお願いします。

先ほどもありました策定した対策パッケージなんですけれども、人材確保の面で、自衛隊や警察署の退職者などに協力要請するとか、ガバメントハンターとして、狩猟免許を持つ人

を实际職員に雇用した場合の人件費も支援するとしていました。

まずこの対策パッケージの人材の面についての受け止めを教えてください。

知事

はい。猟友会の皆さんが活躍してくださっておりますけれども、なかなか高齢化というようなこともありまして、そして、クマの出没・目撃件数がですね、本当に、もう予想以外にもはるかに多くなっておりまして、時期も長くなっております。現在のままでは、やはり人手が足りないというようなことになるかと思っています。

中期的に見ても、やはりしっかりと人材確保、このことに力を、意を用いていく必要があると考えたところです。

記者

ありがとうございます。

記者

山形テレビです。

今回の会議の中でも、いろんな部署から被害だったり、対策を講じてほしいという話がありましたけど、改めて聞いてみてどうですか。

知事

そうですね。本当に、県民は、地域に住んでいる皆さん、県民、もちろんのこと、本当にビジネスでありましたり、観光といったところにまで影響が及んでいるということが分かりました。これからも風評被害というものが拡大するのではないかと、非常に懸念をしているところであります。

やはり正確な情報を発信して、また、しっかりと対策を取っていくということもお示しをいたしまして、県民の皆さんに少しでも安全・安心を持っていただきたいと思っておりますし、やはり県民の皆さんにも注意喚起というようなことで、本当に命・安全をですね、守るために注意をしていただけるように、これからもしっかりと取り組んでいきたいというふうに思っています。

記者

もう一つよろしいですか。

知事

はい。

記者

すみません。

今回、クマの出没が異例の数というところで、県民の安全のみならず、やっぱり県の職員だったり、市町村の職員も結構疲弊していると思うんですけども、そういったところについてはどう思われますか。

知事

そうですね。やはり、もう災害と同じだというふうに私は申し上げているんですけども、災害時にあってはですね、本当に大変なご苦勞をおかけしますけれども、やはり、県民の皆さんの安全・安心、これを守るっていうのが本当に一番大事でありますので、やはり助け合って、職員間でも助け合ってしっかり取り組んでいきたいというふうに思っています。

特に現場対応力というようなことで、市町村ですとか、猟友会の皆さん、また、警察官の皆さんにもですね、装備品というようなことでも支援をするということを今日、申し上げました。しっかりと安全を確保しながら対策を取っていただきたいというふうに思っております。